

凍霜害（4月22日）等に関わる農作物への技術対策について（第2報）

平成25年4月26日
農業技術課

2 野菜

（1）降雪と低温を受けた野菜全般

- ・雪や被覆材の荷重による損傷部及び低温による損傷部から、病害発生を招く恐れがあるので、葉野菜類では、速やかに薬剤散布を行う。
- ・生育ステージの異なる株が混在すると、以後の栽培管理や収穫に不都合をもたらす場合があるので、補植等の判断には注意する。
- ・農薬の使用に当たっては、登録内容（使用時期・使用回数など）を確認、厳守する。

（2）葉野菜類（レタス類、キャベツ、ブロッコリー、はくさい等）

- ・定植後数日程度の株で、外葉壊死が半分以上の場合には植え直す。被害の軽度のものは、新葉の伸長程度を見て、追肥等の管理を早めに行い生育回復を図る。
- ・レタス類では低温性の腐敗病、灰色かび病、菌核病の発生することがあるため、薬剤散布を行う。結球期のレタスは、結球が進んだものほど低温等の影響を受けやすく、以後の天候によっては被害部から腐敗性病害が発生することがあるので、注意する。
- ・キャベツ、グリーンボールでは、生育の回復状況を見る。数日おいて生育の回復を確認後、追肥時期を早めるなり、葉面散布を行うなどして生育を促す。
- ・ブロッコリーでは、生育の遅延からバトニングの発生につながることもあるので、数日おいて生育の回復を確認後、追肥時期を早めるなり、葉面散布を行うなどして生育を促す。
- ・はくさいやセルリーでは、生育の遅延により抽だいの発生につながることもあるので、数日おいて生育の回復を確認後、葉面散布を行うなどで生育を促す。

（3）すいか

ア ハウス栽培

- ・3～5日程度経過観察し、主枝の伸長や新葉の展開がみられるようであれば、管理を継続する。
- ・株元から中位までの葉が枯死している株では、主枝の移動(つる引き) はていねいに行う。先端が枯死または心止まり症状を示した主枝は脇芽(孫づる) に切り替える。開花までに葉面積を確保するので、通常より番花を上位にし開花・交配日が遅れることを想定して管理を行う。
- ・葉面散布剤は、新葉が展開しはじめてから行う。病害はあまり発生する時期でないものの、被害葉がもとで病害を招く恐れがある。害虫もまれにアブラムシ類などが局所的に発生することがある。防除基準に従って薬剤散布を行う。
- ・株毎に管理が異なり作業が煩雑になるので、収穫期の判断を適正に行えるよう、特に交配日の目印は確実にを行う。
- ・枯死葉が軽微で葉面積が確保されている株では通常の管理を行う。

イ 露地(トンネル)栽培

- 被害程度に応じて、以下の対策を行う。

【被害程度甚、親づる及び葉が壊死】(写真1)

回復は困難。植え替える。または隣接株を伸ばして補償する。

【被害程度大、親づるがやや変色、葉柄が変色・下垂、葉身が壊死】(写真2)

回復はやや困難。数日間経過観察し、腋芽(子づる)の抽出、伸長が見られたら、これを活かす。伸長が見られない場合は植え替える。

【被害程度中、親づるは一見問題なく、葉柄がやや変色、葉身が一部壊死】(写真3)

回復の可能性あり。数日経過観察し、腋芽(子づる)の伸長を見て、以後の管理を行う。

【被害程度小、葉柄は特に異常なし、葉身が一部壊死】(写真4)

回復する。通常管理で対応する。



写真1 被害程度甚：親づる及び葉の壊死



写真2 被害程度大：親づるがやや変色、葉柄が変色・下垂、葉身の壊死



写真3 被害程度中：親づるは一見問題なく、葉柄がやや変色、葉身が一部壊死



写真4 被害程度小：葉柄は特に異常なし、葉身が一部壊死

(平成25年4月22日凍霜害 すいか)

- 植え替えた場合、既存株が定植後10日以上経過している圃場では、既存株と植え替え株での生育ステージ差から以後の管理が煩雑になるので、注意が必要である。
- 植え替え用の苗が確保できない場合や被害が軽い場合は、継続して管理を行う。被害株では、本葉の脇芽(子づる)が確保できない場合に限り、子葉の脇芽(子づる)1本を使用するか、孫づるを使って主枝を確保する。
- 隣接が欠株を生じた株では、4本仕立てから5~7本仕立てへ切り替えて欠株部の補償を行う。この場合、整枝作業(主枝決定)を急がずに脇芽(子づる)を多数出してから、主枝を決定する。
- 低温を受けた株では、主枝とする子づるの生育差が大きいことに特に留意し、草勢によっては5番花着果を想定して作業を行う。

(4) アスパラガス

- 被害を受けた若茎は貯蔵養分の消費を防ぐため早めに地際から刈り取り、新芽の発生を促す。
- 被害が軽度の場合、以後の伸長が悪く商品性の劣る若茎もあるので、経過をみながら刈り取り処分を行う。一時刈り取りの影響は、5日から10日程度残る。